



ゆうがく

コロナ下での健康づくり

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症 (coronavirus disease 2019:COVID-19) が発生して1年以上が過ぎました。感染症拡大防止のため、皆さんの生活も一転しました。スポーツ庁の調査では、感染対策による活動制限・運動不足の長期化による影響が下記の項目について報告されています。

- ・ウイルス感染への不安 ・ストレス蓄積
- ・体重増加、生活習慣病の発症・悪化
- ・体力の低下 ・腰痛、肩こり、疲労
- ・体調不良

特に子供の場合は発育・発達不足、高齢者の場合はフレイル¹⁾、ロコモティブシンドローム²⁾などが挙げられています。

- 1) フレイルとは、加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスにより脆弱^{ぜいじやく}になった状態のことです。
- 2) ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態のことです。

また、厚生労働省の調査では、身体活動時間は、コロナ前と比較してコロナ下では約5分の1に減少、一方でTV視聴時間は、約4倍に増加しているという報告があります。よって、運動不足による影響は身体のみならず精神面の悪化にもつ

ながります。

「新しい生活様式」として中長期にわたり、感染症対策と向き合う中で、身体的および精神的な健康を維持する上で、体を動かしたり、スポーツを行うことは重要です。

運動の効果は、自己免疫力の向上、ストレス解消、体重コントロール、体力の維持・向上、血流促進、子供の場合は、発育期の健全な成長、高齢者の場合は、筋量・筋力の維持、転倒防止、認知症予防、食欲増進などがあります。

普段の生活の中で、感染を予防し、なおかつ健康づくりを意識して過ごしてください。

まずは、歩くことから始めてはいかがでしょうか？

放送大学客員教授
(山形県立保健医療大学教授)

佐藤 寿晃





令和3年度 第1学期学位記授与式が開催されました

令和3年9月26日(日)午後1時30分から山形学習センター講義室におきまして、「学位記授与式」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮し、密閉空間、密集場所、密接場面という3密を避け、卒業生の皆様の健康面に配慮し、時間を短縮した上で、卒業生の参列に限定して行いました。

令和3年度第1学期の山形学習センターからは、教養学部卒業生23名が、学位を授与されました。当日は学歌演奏の後、出席された10名に安田弘法所長から学位記がお一人ずつに手渡されました。

様々なご苦労や困難を克服して、ご卒業された皆様、誠におめでとうございます。

皆様の晴れやかな姿が、全科履修生の目標のひとつです。

放送大学では、全てのコースを修了された学生について、放送大学名誉学生の称号を付与する制度があります。この度、佐藤ちゑ子さんと鈴木富士子さんが授与されました。

また、山形学習センターでは、卒業時に特に優秀な学業成績を修めたと認められる学生について、顕彰しています。今回は、3つ目のコースを卒業されました、伊藤洋子さん、柏倉木の実さん、高橋康輔さん、富樫聖さんと名和則子さんが、生涯学習奨励賞を授賞されました。

令和3年度第1学期の卒業生(23名)

【教養学部】

生活と福祉コース	2名
心理と教育コース	7名
社会と産業コース	3名
人間と文化コース	6名
情報コース	3名
自然と環境コース	2名



学位記授与式を終えての集合写真



卒業体験談

自然と環境コース 佐藤 ちゑ子さん

22年前山形学習センターが緑町に開所した時、仕事との両立を目指し入学したが途中で挫折。その後、退職を機に再入学し早や16年半、念願かなって全6コース習得し卒業できました。諸先生や学習センターの皆様には、長きにわたり大変お世話になり、心から御礼を申し上げます。

習得した総単位数は224単位、落とした単位数は2科目4単位です。孤独と闘いながらの学びも、学習センターに来れば仲間がいました。今は亡き名物先輩の渡辺さんに勉強の進め方等を教えていただき大助かりでした。

面接授業、ミニ講座や学生サークル活動を通して、交流機会が多く楽しく学べました。また年2回の単位認定試験の緊張感と終わった後の達成感、生活の良いアクセントになり充実した日々を過ごすことができました。東北北海道学習センターの同窓会との交流会にも参加し、意見交換や一緒に街中散策したことも懐かしい思い出です。

放送大学での学びと交流すべてが、私の人生の宝物です。本当にありがとうございました。



情報コース 鈴木 富士子さん

私の入学のきっかけは、事務室勤務の仁藤さんから勧められたこと、少し興味があったので科目履修生として入学しました。少しずつ単位が増えていくと面白いもので、もともと大学を卒業したかったこともあったので2年半後に全科履修生になりました。卒業研究のため神奈川学習センターにも行きました。本部の卒業式に出席するために千葉県にも行きました。

卒業後は、選科に在籍したり、大学院の科目も取ってみました。その間、父の死、職場の悩みでセンターからは足が遠のいていました。しかし、また学習意欲がわいてきて、卒業後5年後に第3年次再入学を決意しました。2つ目、3つ、4つ、5つと続き、このたびの6コース目卒業が出来、名誉学生をいただくことができるのが何より嬉しいです。センターの皆さん、そして、家族に感謝いたします。

私は、放送大学で学ぶ喜びを知りました。知識を得ることは楽しくて面白いものです。知識は、私の一生の宝物です。

試験のワクワク感、成績判定までのドキドキ感はたまりません。

「生きることはまなぶこと。学ぶのはたのしみ。」放送大学学歌で、私が一番好きなおところです。これから好きな科目をゆっくり学んでいこうと思います。



社会と産業コース 伊藤 洋子さん

私が放送大学を卒業するまで継続出来たのは、「学ぶことが楽しいと思えたこと」と「面接授業・放送授業といった学ぶ形式が2つあった」ことが大きな要因です。

多くの授業の中から興味のあるものを選ぶことが出来るのも魅力でした。

仕事や家事等で疲れていても、教科書が届き、目次を見てページをめくるとワクワクしてきました。教科書や授業の中で知りたいと思っていたことがわかったり、深く知ることが出来たりする体験を通して、学んで良かったと思いました。

面接授業では、年齢や経歴など様々な方々と話が出来たり、受講生からの質問にリアルタイムで講師の方が回答くださったりすることで、自分1人での学習では気づかないことに気づくことが出来、物事を捉える視点が広がりました。

「学びたい」を後押し、継続させてくださいましたセンターの方々、関係者の皆様に感謝申し上げます。

人間と文化コース 柏倉 木の実さん

「卒業に当たって体験談を」ということで思い出に残ったエピソードを。

今でも忘れられない筆記試験でのこと、『ダイバーシティについてどういものを書きなさい』という問題で、怠惰な私はIT完備の近代都市みたいな内容を書き綴ったら『多様性』と言うことで、ぜんぜん見当違いの解答に恥かしい思いをしました。これは落第だと思っていたら、もう一方の解答が良かったのか評価『B』を頂いたので安堵いたしました。

それ以来忘れられない単語になりました。

☆リテラシー ☆サステナブル ☆バイアス ☆ジェンダー etc など 今ではニュースや新聞にどんどん出てくる単語と早く出会えたこと。

放送大学での学習が私の語彙力を豊かなものにしてくれ知識、理解力を身に付けさせて頂いたこと等が良い点かなと思っています。

沢山の放送大学での学習がこれからの暮らしに寄り添い続けることを切望します。

今迄の学習を支えてくれた家族、学習センターの先生方の親身なご指導、ゆうがくの会の皆様ありがとうございました。

人間と文化コース 高橋 康輔さん

この度、人間と文化コースで学部3回目の卒業認定をいただくことができました。放送大学に最初に籍を置いてから25年目になります。

初めは科目履修生でした。就職してすぐ勉強不足を痛感したからですが、教科書が難しいなどと自分への甘さから遊学館へ足が向かず、あつさり諦めてしまいました。

それから4年後、今度こそと全科履修生で入学しました。霞城セントラルの視聴室は多用しました。今はネット配信になりとても便利です。

修士課程まで進み、やりきった感があったのですが、職場異動や家族を持つなど環境が変わると、違う分野に興味が出てきました。今のコースは子供の歴史好きが影響しています。単位数は無理せず、面接授業のついでに友人と飲むという方針（コロナで自粛中）で学生生活を続けております。

10月からも再入学してお世話になります。学んだことを子供に少しでも教えられるといいなと思っています。「知識は財産なり」。

人間と文化コース 富樫 堅さん

この度、放送大学を御卒業される全科履修生の皆様、御卒業おめでとうございます。そして、私たち卒業生を支えてくれた、山形学習センターのスタッフの皆様及び放送大学に感謝申し上げます。重ねて、未熟な私に、卒業体験談を発表する機会を与えてくれた事にも感謝申し上げます。

私事ですが、今回で卒業が3回目となり、選科履修生としての在籍期間も含めると、放送大学在籍期間は20年を超えます。「長いなあ」と驚きます。

この期間、全て楽しい時間を過ごして来ましたが、放送大学を通じた資格取得中に、東日本大震災を体験。また、現在のコロナウイルスとの戦いなども含め、想定外の大変さを体験する事も有りました。

振り返れば、非常事態下では、私的にとても大変な状況に有りましたが、山形学習センターに足を運び、学習机を前にして着席した時など、なぜか「ほっ」としていた様に思います。

当時は、放送大学に在籍出来て居る嬉しさをささいな事から実感していた様に思います。この時は私も頑張りました。

先日、放送大学から入学許可書が届きました。新たな再出発です。

私は若い頃より、自分に必要な事を学ぶ姿勢を貫いていますが、今では自分の老後を考慮し、自身の生活を豊かにする必要性、選択する教科に意識させるようになりました。自分の学びを大切に、放送大学を楽しむ。若い頃の気持ちも併せつつ、これからの大切にしていきたいと思っています。有難うございました。



生活と福祉コース 名和 則子さん

出羽三山の丑歳御縁年が巡ってきた今年。

その年に、丑歳の私にも3回目の卒業【生活と福祉コース】が巡ってきました。1回目の卒業は、人間と文化コース（平成25年3月卒）、2回目は社会と産業コース（平成30年3月卒）です。

ふりかえれば、放送大学での学びのスタートは、長年勤務した職を退いた、平成20年4月でした。座右の銘としてきた『学ぶことを忘れるな』がきっかけです。

当時は、教科書と放送の聴講を中心に5年での卒業を目標としていました。3回目となる今回は、「無理せずゆつくりと」を目標に、1～2科目を選択して取り組みました。また、共に学ぶ仲間との繋がりが大事と考え行事への積極的な参加を心掛けてきました。

しかしながらコロナ禍でそうもいかず、単位認定試験は自宅受験やパソコンによるZoom操作も初めて体験しました。

今後は、これまで学んだことを社会生活や今の民生児童委員の福祉活動に少しでも活かして行きたいと思っています。先だって、4回目の卒業を目指し【心理と教育コース】に継続入学をしました。

御指導御支援等々して下さった方々に心から感謝致します。ありがとうございました。





安田所長の『ワクワク情報の小窓』—特別編—



所長の『ワクワク情報の小窓』を始めて1年半が経過しました。『ゆうがく80号』の『小窓』からは、少し内容を変えて継続したいと思います。山形学習センター（山形SC）では、私が所長に就任した2020年4月から以下のような3つのセンターを目指し運営しています（右の四角は、私の名刺の裏です）。

1) 地域の文化や高等教育の中心として、多彩な皆さんが集う
「結縁のセンター」

2) 日本と外国の方が学び交流する「多文化交流のセンター」

3) 人生を如何に生きるかを学ぶ「人間学の学びのセンター」

この1年半を振り返り3つのセンターのうち「人間学の学びのセンター」に関してもう少し発展させ充実したいと思います。そのため、今後、2つの企画を実施します。まず、一つは、今回の『ゆうがく80号』から「人間学コラム：安岡教学に学ぶ」を連載します。ここでは、東洋思想の泰斗で碩学、安岡正篤先生とその教えについて少しずつ紹介します。さらに、今年11月から多面的に活躍されている多彩な方を講師とし、2カ月に1回程度、5回シリーズで『市民講座：シリーズ人間学を学ぶ』を開講します。

放送大学は…

生涯学習の要望に応え、文化の進展並びに社会と地域の発展に寄与します。



山形学習センターは…

1. 地域の文化や高等教育の中心として多彩な皆さんが集う「結縁のセンター」

2. 日本と外国の方が学び交流する「多文化交流のセンター」

3. 人生を如何に生きるかを学ぶ

「人間学の学びのセンター」を目指します

『市民講座：シリーズ人間学を学ぶ』の開講

【『市民講座：シリーズ人間学を学ぶ』の開催趣旨】

「人生を如何に生きるか」との命題は、二度ない人生を生きる私たちにとり重要な問題の一つです。しかし、私たちの多くは、日々の忙しい生活に追われ、ゆっくりと人生について考える時間が少ないのかもしれない。そのような中『市民講座：シリーズ人間学を学ぶ』の趣旨は、講演者が歩んできた人生等を紹介し、その多面的な学びを通じ、参加者の皆さんが自らの人生を考える一助にすることです。ここでは「人間学」を「人生をより良く生きるための人としてのあり方に関する多面的な学び」と広義の意味で捉えたいと思います（人間学コラム参照）。

幕末の儒学者佐藤一斎先生は、『言志四録、三学戒』の中で「少くして学べば壯にしてなすあり。壯にして学べば、老いて衰えず。老いて学べば、死して朽ちず」と生涯の学びの重要性を指摘しています。本講座では、多くの皆さんが、忙しい中で生活している今、ちょっと立ち止まり、少しの間、生涯の学びの一つ「生きること」を一緒に思索できれば嬉しく思います。

【『市民講座：シリーズ人間学を学ぶ』 第1回のご案内】

『市民講座：シリーズ人間学を学ぶ』第1回 「大学改革から学んだ人間学」

【日 時】 2021年11月27日（土）13時30分～15時（事前申込、ネット配信も予定しています）

【場 所】 放送大学山形学習センター101教室

【講演者】 安田 弘法（山形学習センター所長）

【講演概要】

現代は、時代の流れが速く、変化が激しく、情報や人が国境を超えて簡単に交流できるグローバル社会です。多くの組織がこのような社会の中で生き残るには、変化する時代や社会に適応し自らが変化することも必要です。これは、大学にも当てはまります。今回の講演では、山形大学農学部長及び山形大学教育担当理事・副学長として農学部や山形大学の改革に取り組んだ経験を縦糸に、そこから学んだ「人間学」を横糸として「大学改革から学んだ人間学」をお話します。そして、二度ない人生を生きる上で「人間学」を学ぶことの重要性や、多くの方から学んだ味わい深い「人間学」について紹介します。



【人間学コラム:安岡教学に学ぶ (1)人間学とは何か】

「人間学」が書名の書籍が数多く出版され、私達も「人間学」の言葉を使う。しかし、「人間学とは何か」と聞かれたら、「さて、何だろう」と考える。ここでは、「人間学とは何か、それを学ぶ目的、さらにその必要性」を安岡正篤師の講演から考えたい。

安岡師は、学問を根本的性質により三つに分ける。「一つは「知識の学問」。これは、理解力、記憶力、判断力、推理力等、悟性の働きて誰にもできる機械的な能力である。また、経験を積み、思索反省を重ねて、我々の性命や、人間としての体験の中からにじみ出てくるもつと直観的な人格的な学問が「智慧の学問」である。それゆえ「知識の学問」より「智慧の学問」になるほど、生活的・精神的・人格的になる。それを深めると、普通では容易に得られない徳に根差した、徳の表れの「徳慧の学問」になる」という。「知識の学問」は分かり易く、「智慧の学問」は少し分かり難い。また「徳慧の学問」は、その実態が掴み難い。「徳慧の学問」は、徳について学び、それを体得する学問のように思う。

さらに、「徳慧の学問」、即ち広い意味において道徳的学問・人格学、これを総括して「人間学」というならば、この「人間学」が盛んにならなければ本当の文化は起こらない。民族も国家も栄えない。これは動かすべからざる歴史的真理である。私どもが念願していることは、この大切な根本的な意味における「人間学」を盛んにし、これを国家生活・国民生活百般の上に実現したいと、師は「人間学」隆盛の必要性と念願を述べる。師の説明により「人間学」とは何か、さらにそれを学ぶ必要性が分かる。「人間学」は、今の教育や学問に欠けている人格陶冶につながる重要な学びに思う。

そして、師は、「人間学」の目的として二つの条件を紹介する。人間学の第一条件は、もつと「人間の本質的完成のため」でなければならないという。さらに、第一条件として「本当の学問というものは、立身出世や就職などのためではなく、窮して困しまないこと、憂えて心衰えないこと、何が禍であり、何が福であり、どうすればどうなるかという因果の法則一禍福終始を知って、人生の複雑な問題に直面しても、取えて惑わない」という荀子の教えを示す。学問の本質をついた教えである。

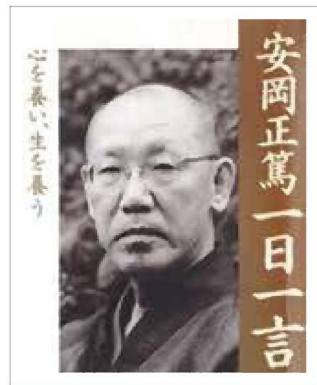
また、人間学の第二条件としては、こういう精神・学問を修めることにより「自ら靖んじ、自ら献ずる」ことだと『書経』の言葉を紹介する。これは、「平たく言えば、内面的には良心の安らかな満足、またそれを外に発しては、なんらかの意味において世のため、人のために自己を献ずることだ」と述べる。「自靖自献」、日々の生活においても重要な箴言である。

そして、「人間が機械的・物質的・科学的・技術的には異常な発達をしたが、その反面、精神的・道徳的にはアンバランスがある。そこから生ずる人間の練れていない、出来ていない、幼稚である、この未熟で練れていない心が大きな問題を引き起こすのである」と指摘する。さらに、「いかにして現代人の「熟達し練れた心」を養うかということが重大な問題であり、言い換えればもつと「人間学」を興さなければならない。そして人材を輩出させねばならぬ。これあるによって初めて本当の大事ができる」と、師は「人間学」隆興と人材輩出の必要性に触れる。

日本の政界、財界、教育界、民間企業の人々はもとより、多くの日本人に今、「人間学」の学びが不可欠に思う。そして、「人間学」を体得し「熟達し練れた心」を持つ人材の輩出が、今の日本に必要である。「人間学」の学びは、今までも、今も、これからも私たちが生き続ける限り忘れてはならない日々の学びであろう。

今回のコラムは、『人間学講話 知命と立命』（安岡正篤著、プレジデント社）に掲載された安岡師の記念講演「人間学とは何か」を参考に執筆しました。

「人間学」に関する参考記述（『致知』、「人間学とは何か」より）：人を愛する、人を尊敬する、忍耐、正直、勤勉、誠実、恩を感じて恩に報いる……。こうした、人が本来備えている徳性を養っていくための学問を「人間学」と言います。この徳性は学んで養っていかねば、発揮されません。つまり、「人間学」とは、徳性を養うための学問を意味します。





2021年度第2学期 山形学習センター面接授業 追加登録が可能な科目(10月21日現在)

開講日	科目名	担当講師(敬称略)/所属	定員	特色
11/ 6 ・ 7	日本近代建築の歴史と その魅力	志村 直愛 東北芸術工科大学教授	16	スライドショー講義で建築史を学び、済生館や文翔館を解説付きで見学します。見慣れた風景が持つ魅力を再発見しましょう。
11/20 ・ 21	先端機構学に基づく ロボット工学	多田隈理一郎 山形大学准教授	16	全方向駆動歯車のデモンストレーションなどを通してロボットシステムの機能を学んでいきます。
	平安の女流歌人(その2)	藤田 洋治 元山形大学教授 山形学習センター客員教員	16	宮仕えなどで女性がたいへん活躍した平安時代の、女流歌人を順次取り上げていきます。昨年好評だった授業の第2段。
11/27 ・ 28	防災と地理学	村山 良之 山形大学教授	16	自然災害の多い昨今、自然現象についての基本を学び防災について考えましょう。
12/ 4 ・ 5	実践練習で学ぶ 初級ドイツ語	渡辺 将尚 山形大学准教授 山形学習センター客員教員	16	カルテ、シュプール、メッセなど、日本語にもドイツ語起源の語がたくさんあります。そういえば「なじみの語」から、まずはドイツ語の響きを味わってみましょう。英語以外の外国語の面接授業は久しぶりですので、この機会に是非。
	東南アジア通史	今村 真央 山形大学准教授	16	「東南アジア」を一つの地域として捉え、古代から現代まで、世界史の大きな文脈の中でその独特の歩みを理解します。
12/11 ・ 12	教育心理学	関口 雄一 山形大学准教授 山形学習センター客員教員	16	教育現場の諸課題に関連する心理学の基礎的な研究知見を紹介します。抽象的な概念も具体例を交えながら学習していきましょう。
1/ 8 ・ 9	植物と昆虫の共生と その進化	横山 潤 山形大学教授	16	昨年は「植物と菌の共生」、そして今年は「植物と昆虫の共生関係の多様性と進化」について学んでいきます。

最新の空席状況・申し込み方法などについては、山形学習センターに直接お問い合わせください。

※11月20日21日に開講する「多田隈理一郎先生」の面接授業は、
開講予定会場の都合で、「山形学習センター(山形市)」での開催に変更になりました。

授業内容・持ち物等の詳細は、「面接授業時間割表」や放送大学HP掲載のシラバスで、確認してください。

【面接授業実施における新型コロナウイルスへの対応について】

- 受講生は山形県在住者に限り、定員を教室定員の半分に制限して実施しています。
- 教室は、座席の指定、講師との距離を確保しパネルを設置、ドア開放やサーキュレーターで換気をしています。
- 受講予定の方には、各授業の2週間前をめどに、留意事項について文章で通知します。内容をご確認のうえ受講してください。
- 欠席される場合はご連絡ください。

その他、ご質問やご心配なことがありましたらお問合せください。



合同ガイダンス(卒業研究・大学院修士)が 開催されました

7月3日(土)、2年ぶりに合同ガイダンス(卒業研究・大学院修士)が開催されました。卒業研究履修および大学院修士全科生に関する説明とともに、お二人の方から体験発表をしていただきました。

○平泉 良一さん

平成30年度卒業研究「エクセルで和算の魅力を探る」

卒業研究は、江戸幕府の農兵隊組織に関する研究や「夢の正体と夢からの贈り物」など、3回実践しました。

はじめ自分が描いた研究テーマは、所長面談や先生方からの指導を受けて変化していくことも多々あります。

卒業研究は6単位で、放送科目を印刷教材で単位取得の方が楽だと思います。でも卒業研究は自分にとって宝物だと思います。



○高橋 玲子さん

令和3年度修士全科生:人間発達プログラム

理学療法士養成校の教員として勤務する中で、日々の学生指導の効果を立証してみたい、様々な方々と交流してみたいと思い、大学院進学を決意しました。

受験対策のポイントは、①事前に修士選科生として学習した方が専攻分野の理解が進む、②英語に対する理解、③研究計画書の事前準備(テーマ選定や先行研究・参考文献の調査)などです。



パソコン教室(入門編)を開催しました

9月9日(木)21日(火)に、パソコン教室(入門編)を開催しました。当日は、講師・補助員に「ゆうがくの会 パソコン教室」(代表 中村佐智子さん)の皆さんをお願いし、学生さん同士の学びあいの場となりました。

電源の入れ方から、入力の手順、Word・Excelと充実した一日となりました。

放送大学では様々な事柄が電子化されており、ICTスキルが必要となってきました。

山形学習センターでは、今後も「パソコン教室」など多くの機会を提供していきます。

(次回は、2月に開催予定)



キャンパススケジュール (令和3年) 11・12・(令和4年) 1月

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 11/6[土]・7[日] 面接授業(佐藤宏平先生・志村先生)
- 9[火] 学びのサロン(GLOAG先生:10時30分~12時)
【WEB】通信指導提出期間(~11月30日)
- 11[木] 学びのサロン(藤田先生:10時30分~12時)
(近藤先生:14時~15時30分)
- 12[金] 学びのサロン(渡辺先生:16時30分~17時30分)
- 13[土]・14[日] 面接授業(迫田先生)
- 16[火] 【郵便】通信指導提出期間(~11月30日)
- 19[金] 学びのサロン(関口先生:16時30分~17時30分)
- 20[土]・21[日] 面接授業(多田隈先生・藤田先生)
- 26[金] 学びのサロン(安田所長:15時~16時30分)
- 27[土] 市民講座「シリーズ人間学を学ぶ」(13時30分~15時)
- 27[土]・28[日] 面接授業(村山先生)
- 30[火] 【WEB・郵便】通信指導提出締切

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 12/4[土]・5[日] 面接授業(渡辺先生・今村先生)
- 9[木] 学びのサロン(藤田先生:10時30分~12時)
(近藤先生:14時~15時30分)
- 10[金] 学びのサロン(渡辺先生:16時30分~17時30分)
- 11[土]・12[日] 面接授業(関口先生)
- 14[火] 学びのサロン(GLOAG先生:10時30分~12時)
- 17[金] 学びのサロン(関口先生:16時30分~17時30分)
- 18[土]・19[日] 面接授業(佐藤寿晃先生)
- 24[金] 学びのサロン(安田所長:15時~16時30分)
- 26[日] 学びのサロン(佐藤先生:13時~14時)

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1/8[土]・9[日] 面接授業(横山先生)
- 11[火] 学びのサロン(GLOAG先生:10時30分~12時)
- 13[木] 学びのサロン(藤田先生:10時30分~12時)
(近藤先生:14時~15時30分)
- 14[金] 学びのサロン(渡辺先生:16時30分~17時30分)
- 14[金]~21[金] 単位認定試験(自宅受験)
- 21[金] 学びのサロン(関口先生:16時30分~17時30分)
- 22[土] 学びのサロン(佐藤先生:13時~14時)
- 28[金] 学びのサロン(安田所長:15時~16時30分)

□ → 閉室日 □ → 利用者を限定

すべてのお問合せ・資料請求・お申込みは

▶ インターネットでもお願や資料請求(無料)ができます! www.ouj.ac.jp

放送大学

検索

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル10階

放送大学山形学習センター

TEL 023-646-8836 FAX 023-646-8838

E-mail yng-sc@ouj.ac.jp

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamagata/>

